

伝票処理支援を目的としたデジタルツールの利用について

大村 ふみ

香川大学農学部会計係

1. デジタルツール導入前

・解決したい課題

支払処理漏れを0件にしたい

(大学は原則後払いで業者と取引しており、処理漏れは信用問題になる)

・問題点1：進捗状況の共有

担当者は伝票処理業務を翌月の締め切りまでに分担して行うが、互いの処理状況が把握しづらく、処理手順も統一されていなかった。

(例) 担当者A：納品＞購入システムに入力＞書類依頼(この間、購入システムに購入データが残るので処理状況がわからない)＞書類受取後、財務システムに転送＞財務システムにて決裁書類作成

担当者B：システム入力＞支払システムに転送＞書類依頼＞書類が来た後、支払システムにて決裁書類作成

・問題点2：処理状況の共有

伝票処理漏れの対策用に「未処理の購入データをリストにした表」を、紙媒体で回覧していたが、担当者によって確認のタイミングに差があり、各担当者の確認状況がわかりづらかった

・問題点3：業務の平準化

予算によって多忙な時期が異なり、前月分の伝票処理の完了時期や負担も異なることから、業務工数負担に偏りが生じていた

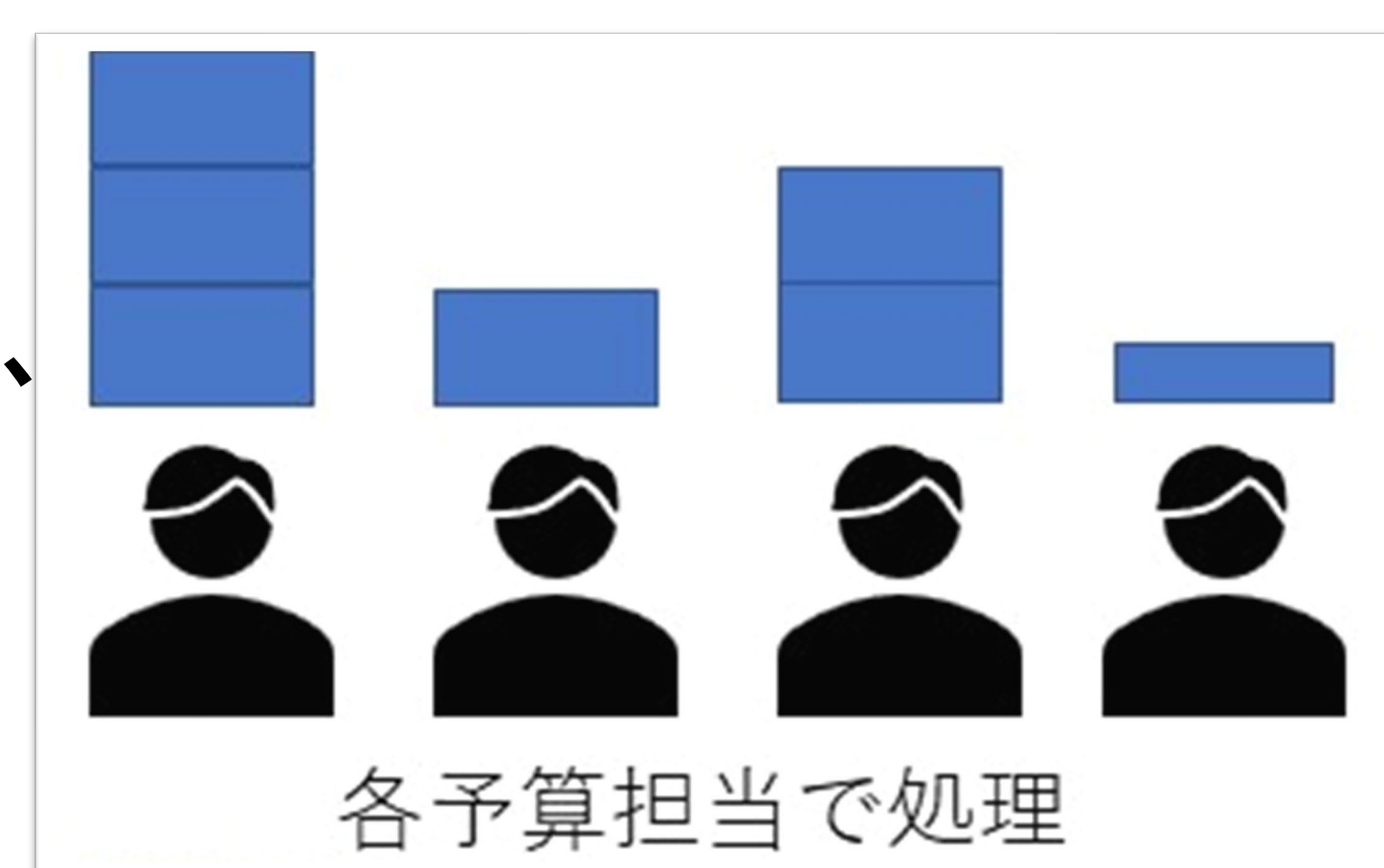
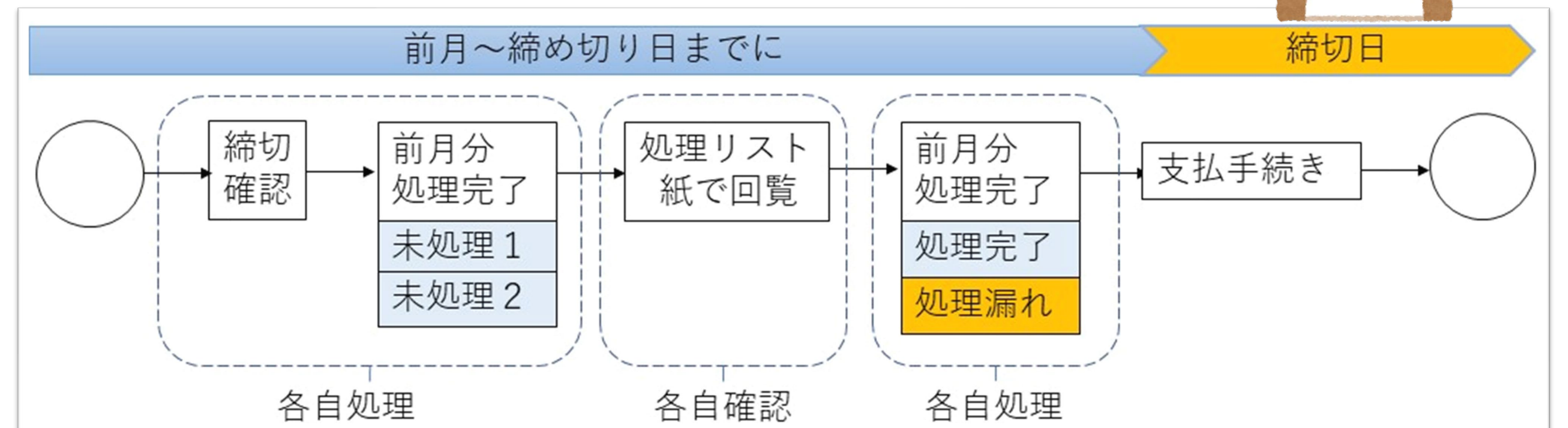
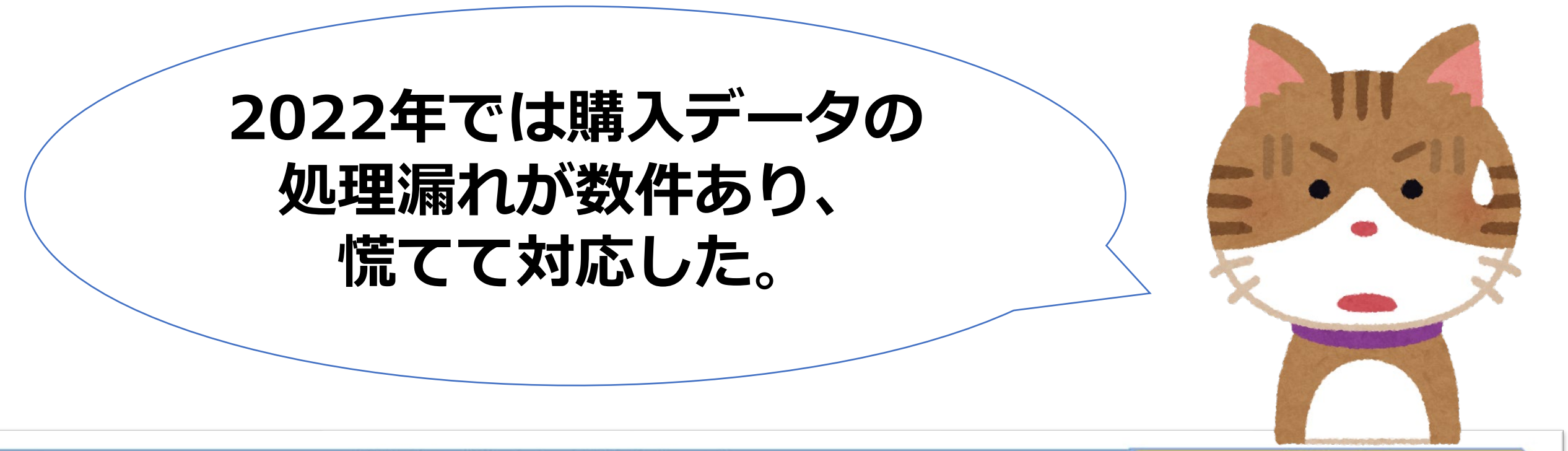


図.当時の状況分析

2. 伝票処理支援のためのデジタルツール

To Do、Planner を用いて処理担当者間で進捗状況と締め切りを共有する
伝票未処理一覧をTeams上で共有し、処理担当者全員で確認・更新する

タイトル	割り当て	開始日	期限	バケット	進捗
前月伝票処理(寄付・科研費)	大村ふみ(農学部)	2024/03/19	3月		完了済み
前月伝票処理(委託・共同研究)	松尾涼子(農学部)	2024/03/19	3月		処理中
前月伝票処理(RA院生)	松尾涼子(農学部)	2024/03/19	3月		処理中
前月伝票処理(RA院生)	川西 南沙(農学部)	2024/03/19	3月		処理中
前月伝票処理(法人経費)	大村ふみ(農学部)	2024/03/19	3月		処理中
支払予定リスト3/29	大村ふみ(農学部)	2024/03/25	3月		処理中
別属農場・他部宛前月伝票確認	池田百合(農学部)	2024/03/15	3月		開始前

3. 成果・効果

伝票処理の進捗状況をTo Doで確認し、協力して作業が可能になり、**全体の処理完了時期が早くなった**

出勤時間が異なる担当者間の情報共有ができた

処理したことが目で見え、達成感を得られた

前月に確認し終える伝票の数が増えたことで、翌月の確認業務の持ち越し分が減少し、業務工数負担が平準化される効果もあった

処理業務手順・考え方の統一化ができた。

購入システム上の依頼番号

確認した内容を入力する欄

担当者名前

予算!

チェック不要は灰色

確認内容は赤字入力・色付けなし

未チェックは黄色

図. デジタルツールを利用した進捗状況、処理状況の共有

処理リストは、財務システムに引継ぎできていない購入データをリスト化する。

書類依頼時に引継いでいない者は確認する量が多い。システムへ引継ぎ済の者は確認する量が少ない。

引継ぎできていないデータのうち、連絡事項に納品予定の記載がある場合は、確認しなくてよい。

担当者らは書類依頼時に支払いシステムへ引き継ぐ。引継ぎできない場合は、その理由を連絡事項に入力。

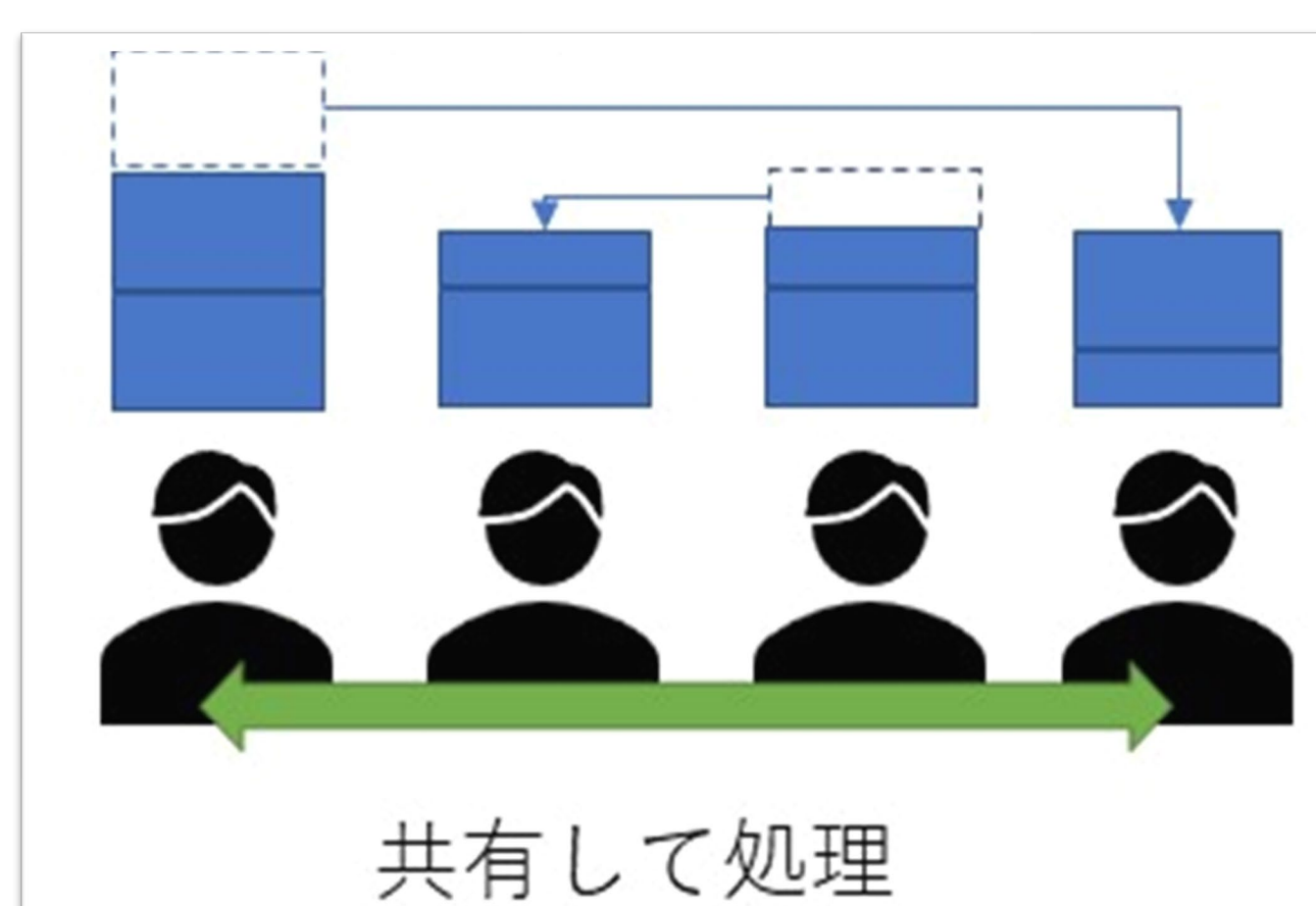
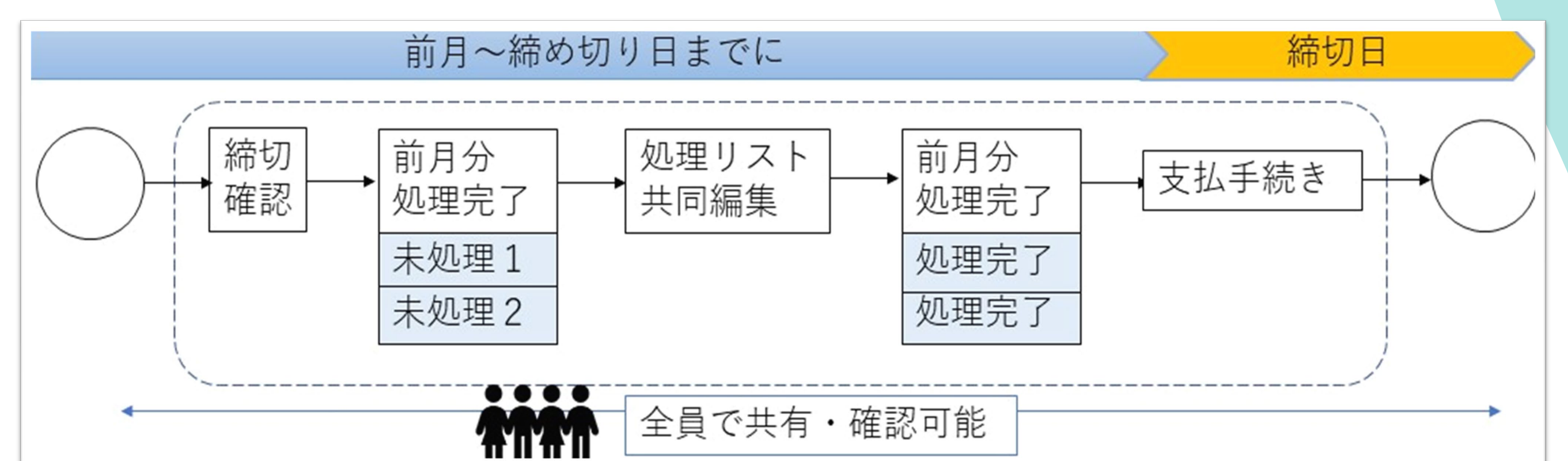


図.現在の状況